

国道398号「石巻北部バイパス」

12月12日開通へ

石巻専修大学

代表電話番号
0225 (22) 7711
入試専用FAX
0225 (22) 7809

「石巻専修大学」ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

通学アクセスが向上 開通式でSWOが記念演奏

国道45号と旧北上川左岸の南境地区を結ぶ石巻北部バイパスが近く開通することになり、12月12日(土)に開通式が南境工区で行われる。同バイパスの開通によって本学へのアクセスはさらに向上し、開北橋付近の通学時の混雑緩和が見込まれている。

石巻北部バイパスは国道45号を起点とし、石巻市と女川町の市町境を東西に結ぶ総延長約11キロの広域幹線道路。この



＜資料提供：宮城県＞

か、石巻東部地域から三陸自動車道・石巻河南ICへのアクセス道路となる。また、起点側に石巻赤十字病院があることから、災害時における重要な緊急輸送道路としても位置づけられている。

開通式では、本学吹奏楽研究会(SWO)のメンバー14人が記念演奏をする。

全日本中国語スピーチコンテスト宮城県大会 菊池友香里さん(3年)が2位入賞

「全日本中国語スピーチコンテスト宮城県大会」(県日中友好協会主催)が11月1日、仙台市青葉区の東京エレクトロホール宮城で開催され、本学から経営学部3年次の菊池友香里さん(志津川高)が中級朗読部門に参加し、2位入賞を果たした。



菊池さんは昨年と今年、2年連続で温州大学サマープログラムに参加。その体験は大きな刺激となり、折に触れメールのやり取りを続けている。

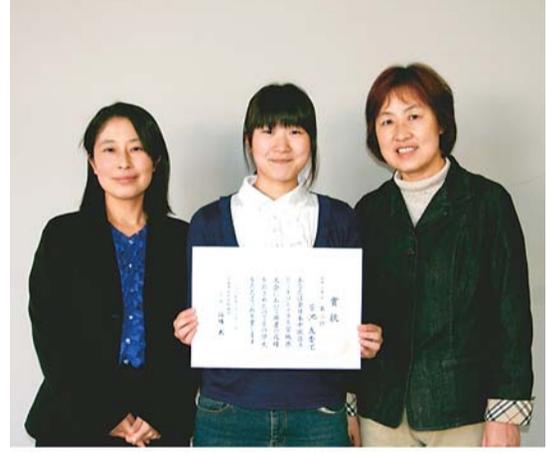
芳賀教授が「世界紳士録2010」に掲載



理工学部の芳賀信幸教授が「世界紳士録2010」(Marquis Who's Who in the World 2010)に掲載されたことになった。世界紳士録は世界で最も権威ある紳士録とされており、各国の政府首脳や国際的に活躍する学識経験者のほか、きわめて独創性の高い研究活動を行っている理工系の学者も掲載されている。

芳賀教授の専門は発生生物学と細胞生物学の境界領域。博士論文はゾウリムシの性的な若返りをもたらす細胞質因子の発見についてで、この物質をイマチユリンと名づけ、1981年の英科学誌「ネイチャー」に発表した。その論文の中で若返りをもたらす成分は、分子量約1万ダルトンのたんぱく質であることを明らかにした。その後、イマチユリンはゾウリムシの仲間では広く存在することが確かめられたが、多細胞生物からはまだ見つかっていない。

芳賀教授は「すべての生物に共通する生命の仕組みを最も調べやすい生物を使って解析するという考えの下に、ゾウリムシを使った仕事を行ってきました。このことが評価のベースになっているのではないかと思います」と話している。



▲ 2人の恩師と一緒に(左から輪田准教授、菊池さん、富里非常勤講師)

秋季理工学部学科対抗スポーツ大会 5競技で親ばく深める

理工学部は10月31日、多目的グラウンドで学科対抗スポーツ大会を開催した。参加した学生、教職員は秋晴れの空の下、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の5つの競技で共に汗を流し、親ばくを深めた。

当日、午前10時に競技を開始。総合競技で優勝した情報電子工学科には学部長杯が授与された。

「絵本原画展」開く 創立20年記念事業で

創立20年記念事業の一環として図書館では、10月10、11の両日、2階特設ギャラリーで「絵本原画展」を開催した。絵本作家・石倉欣二氏の原画50点を展示した。見入っていた。

会期が石巻祭と重なり、育友会地方懇談会が開催されたこともあって、ご父母や学生、市民323人が来場した。訪れた人たちはコンピュータグラフィックで細密に描かれた石倉氏の原画や展示された図書の数々に



本学会場に「第42回日本原生動物学会石巻大会」 シンポジウム、ワークショップも

第42回日本原生動物学会石巻大会(大会長=芳賀信幸理工学部教授)が10月30日から11月1日までの3日間、本学を会場に開かれた。35の一般講演のほか、「原生動物の多様性モニタリング」「原生動物学の公理系を考える」の2つのシンポジウムと、若手研究者のワークショップなどが行われ、活発な議論が交わされた。



石倉欣二氏の原画などを展示。多くの方が来場した。

児童書の出版を手掛ける小峰書店から借り受け、石巻市では初めての公開となった。展示に当たっては昨年度、本学と協定を結んだ登米市からノウハウを学んだ。同市は今年まで10年にわたって、市内で「絵本原画展」を開催してきた実績を持つ。